

500号

『げんきニュース』が に！

市議会報告「げんきニュース」が500号になりました。毎週のご愛読に、あたらめて心からの感謝を申し上げます。

読者の方々から感想の言葉を寄せていただきましたので、ご紹介します。(敬称略)

「げんきニュース」500号おめでとうございます。1号はいつだったのだろうと取っていたニュースを引っ張り出してみました。1999年5月5日が1号で4号までは題字がなくて《名称募集》とあり、6月2日の5号から「げんきニュース」となっています。

身近なはずなのに身近でなかった市の政治を身近なものにし、タブーなしの追及ができて、元気を届けてくれる「げんきニュース」。毎号楽しみにしています。これからも長く続けてください。そして第1号の見出し、「県議選につづいて市議選でも躍進 4名が全員当選」の見出しを再び見たいです。(荘園 渡邊 暁子)

五百号おめでとうございます。3名の市議誕生から3年になるうとしています。その議会報告が五百号を迎えたことは大変うれしいことで、他党議員にはできないことです。この議会報告は、市民にとって市の考え方や市民の暮らしを守る立場で活動する共産党の姿を知らせるもので、大切な役割を果たしてきたと思います。しかし全市民に届けきる点での不十分さも改善されなければと思います。またもう少し「文字」を大きく、わかりやすい言葉にするなど、「読みたい」と思ってもらえる工夫もお願いします。多忙な毎日で大変だとは思いますが、今後も市民に親しまれる議会報告になるようガンバってください。(石垣 田中 仰美)

「げんきニュース」500号おめでとう これからも元気で！ ガンバッテ！

我が家には『しんぶん赤旗』日曜版とともに「げんきニュース」が届きます。共産党の市議会報告です。いつも喜んだり、イライラしたり、怒ったりして読んでいます。“この記事は大勢の人に知らせたい”と思ったときには刷り増しして近所に配ります。庶民の声を議会に届け、その結果を市民に正しく伝えることは、共産党ならではの活動です。これからも元気がでるニュースを私たちに届けてください。期待しています。(田の湯町 宮原 泰子)

亀川支部では「げんきニュース」の全戸配布の際、地域分担を決めて統一行動を組むのですが、訪問した家の人が庭先で仕事をしていたら直接手渡したり、路上で出会った人と対話して配っています。先月NO.495号を配布したときのことですが、記事の内容をある程度理解していなくては対話できないことを痛感しました。それで配布前に記事を読みあわせて、別府市政に対する共産党市議団の主張や要求を各々が身につけて配ることが大事だなど思いました。こういう活動により、共産党への理解と支持が広がるのだなと思って、これからも配布活動をがんばっていきます。(亀川スパランド 荒金 謙次)

続報 「げんきニュース」500号への読者の声

市政の闇の部分 照らし続ける灯台として

毎週の「げんきニュース」を楽しく読んでいます。記事の内容は、私たち市民にとって有益であるばかりでなく、「市民の目線」で執行しているはずの市政の数々の問題点を浮きぼりにし、鋭く追及しています。

例えば水道料金の問題。記事には「なぜ別府市は生活必需品である水を安いコストでつくれるのに、市民には高く売るのがか」、国保税の問題では「累積赤字の原因は、10年間に9億円も一般会計から入れなかった市の責任だ」と議会で追及。また藤ヶ谷清掃センターの改築の入札では「なぜ入札価格の高い業者を選定したのか」などの問題点をねばり強くあぶり出しています。

このような記事は非常に論理的でわかりやすく、誰もが「そのとおり」と納得できるものばかりです。ほかにもたくさんありますが、五百号を節目に、今後も「浜田市政」の闇の部分を探らし続ける唯一の灯台としての役割と活動を期待しています。がんばってください。(60代、男性)

日本共産党議員団の新年度予算に関する申し入れに対して

別府市から回答がありました

2月8日、新年度予算に関する申し入れに対して、次のような回答がありました。そのうちの主なものを紹介します。

《防災計画》

- ・ 海拔15m以下の電柱に海拔表示板
- ・ 海拔10m以下の避難所みなおし
- ・ 沿岸部には避難ビルの指定
- ・ 屋外スピーカー導入に向け調査設計
- ・ 学校耐震化は平成27年度完了
- ・ 災害時要援護者支援制度の充実強化
- ・ 原発事故対策については市単独での計画作成は困難

《介護・国保》

- ・ 介護保険への法定外の一般会計くり入れは困難。高齢者の保険料負担の経済的上限が近いと認識しており、国に負担割合引き上げを働きかける。

- ・ 国保税については、最高限度額を引き上げ、中間所得層の負担を軽減する。
- ・ 一般会計からのさらなる繰入金の増額は慎重に対応する。

- ・ 特養ホームの増設と待機者解消策については、第5期事業計画のなかで議論を行う。

- ・ 生活困窮者への市独自の減免については、慎重に検討する。

《敬老パス》

- ・ 今後ますます高齢社会となるなか、かなりの財政負担が予想され、総合的に慎重に対応する。

《30人学級》

- ・ 別府独自での拡大は困難であり、県・国に要望していく。

《学校図書司書》

- ・ 5年間の雇用期間終了後も、希望者は採用試験で選考されれば雇用を継続する。

《児童館・子育て支援センター》

- ・ 中部地区での新設を検討する。

《住宅リフォーム助成制度》

- ・ 実施に向けて検討を重ねている。

《都市計画道路》

- ・ 南立石亀川線（国道十号と医療センターを結ぶ路線）、鶴見明礬線（原交差点から横断道路を結ぶ路線）は、整備の必要性が高く、早期着手に向け関係機関と協議をすすめていく。

《水道料金の引き下げ》

- ・ 現時点での引き下げは困難。